



試合結果

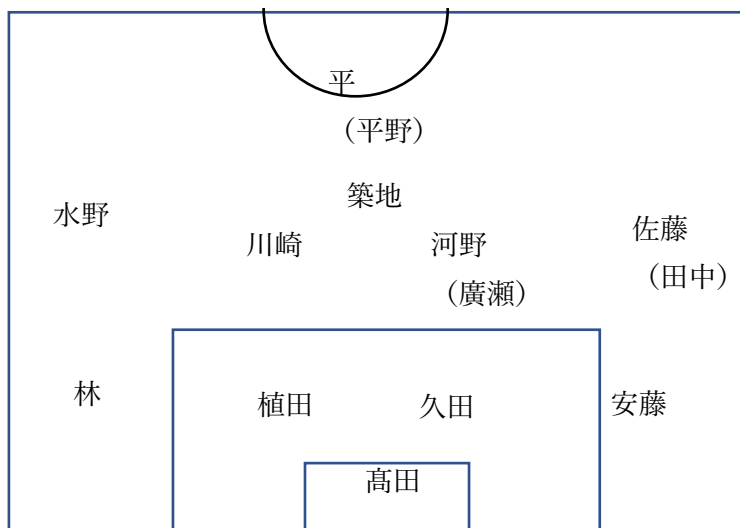
丹羽 0 $\left[\begin{array}{c} 0 - 2 \\ 0 - 3 \end{array} \right]$ 5 愛知黎明

第2節の対戦相手「愛知黎明」は県大会出場の常連校である。3バックで中盤を厚くした黎明は開始直後からサイドハーフを攻撃の起点として、ボランチにグラウンダーの横パスを通す形から、左右のオープン攻撃と中央突破を繰り返した。

受け身の丹羽は相手パスを奪うもののDFから前線へのロングパスに頼る形となった。前半9分

と16分に、相手FWの単独ドリブルに対してDFラインが後退し、ゴール正面ペナルティーエリア外から低い球筋のシュートを決められた。前半20分から後半20分は膠着状態が続いたが、後半の飲水タイム直後、最初のプレーで黎明が放ったボレーのミドルシュートが丹羽のゴールバーをたたき、跳ね返ったこぼれ球を押し込まれた。その後の2失点はFKとCKで第1節と同様の失点であった。

個々のプレーを取り上げれば丹羽の選手にも優れた能力を見いだすことができるが、自信をもって遠



くから脚を振り抜いてシュートを狙う黎明に対して、丹羽は奪ったボールが脚につかず、再び相手に奪われる場面が目立った。

サッカーの試合において0-5は大敗である。近日中に総体予選を控え、時間のなかでいかに立て直すか大きな課題を残した試合となった。

ところで、丹羽高校サッカーには4名(3年生：辻・大島 2年生：田中・加藤)のマネージャーが在籍している。入部したての頃は指示待ち姿勢で、顧問のボヤキの対象であったが、今では顧問が気付かないことまで自分たちで執り行うことができる丹羽高校サッカー部の屋台骨となっている。選手諸君はこのマネージャーの献身的な働きを是非とも心に留めて、プレーに臨んで欲しい。

第3節は6月26日(土)で、多くのチームが新体制となる時期である。スポーツは年齢で勝負するものではないが、前年度に経験を積んだ2年生がどんなチームを構築するのかを楽しみにしたい。
(文章 顧問：若原)

